

地震災害などの備え 4

明日起きても不思議ではない

だから備えを!!

日本列島の太平洋沿岸では、プレート（地殻）の潜り込みによる地震がかなり正確な周期で繰り返し起こっています。特に東海から四国にかけての地域では100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所でマグニチュード8クラスの大地震が繰り返し起こっています（下図）。駿河湾付近を震源域とするものが東海地震、この他紀伊半島沖を震源域とするものを南海地震、四国沖を震源域とするものを南海地震と呼ん

でいます。

特に東海地方については、1854年の「安政の東海地震」が起きて以降150年以上にわたって発生していないため、地震活動の空白域となっており、プレート境界でのひずみが限界に近づきつつあると考えられています。「巨大地震がいつ起きても不思議ではない」と言われるのは、こうした根拠があるからです。

もしもに備えて、今、家庭内で出来る備えをしっかりとっておきましょう。



写真：参考資料

太平洋岸で起こった、過去の大地震

